

2012年度 事業報告

(2012.4 ~ 2013.3)

◆研修事業	p.2-5
◆啓発事業	p.6-7
◆2012年度決算	p.8
◆2012年度会費納入者名簿	p.9-10

理事長挨拶

理事長 今井鎮雄

ブラジル・サンパウロで開かれたロータリー国際大会で、岩村昇博士が第一回国際理解賞を受賞されたのは33年前のことです。受賞記念スピーチでは、18年に渡るネパールでの医療奉仕の体験から「平和と健康を担う人づくり」の大切さを訴え、PHD運動の構想を提唱されました。

21世紀を迎えましたが、残念ながら、岩村先生の思いが実現し、世界から不条理が無くなったとは言えません。現代はグローバル化の波が押し寄せ、情報やヒト、カネ、モノは国境を超えて流れ、世界は密接につながりようになりました。その波に翻弄され、生活を脅かされる人々も多くなりました。PHDのもとで行われる研修もまた、時代に合わせていく必要性を感じております。

2012年度、事務局も新しい体制となり、理事会はPHD協会検討委員会を立ち上げました。1981年にPHD運動が始まって以来、皆様のご理解とご協力のもとに育てられてまいりましたが、まだまだ十分な働きとは言えません。岩村昇博士の想いを大切に、運動の質を高めるよう、これからも努力を続けますので、より一層のご理解とご支援をお願いいたします。

2012年度事業報告をお届けいたします。ご高覧いただければ幸いです。

事務局報告

主任主事 坂西卓郎

2012年度は海外のネパールから2人、インドネシアから1人、国内から2人の研修生を迎えて事業をすすめました。国内研修生は、10年来当会でボランティアとして関わってくれている女性と大学4回生の男性の2人が、1年間共に学んでくれました。

有機農業と保健衛生などの専門研修は、兵庫県を中心に愛媛、島根、岐阜、愛知などにも足を伸ばし、各地の方々を支えられほぼ予定通り行うことができました。また新しい試みとしては、生活協同組合コープこうべ様のお力添えで、協同組合マネジメント研修を実施することができました。2011年度にネパールを訪問し、協同組合研修を行って下さった小西氏が研修を担って下さり、大きな成果を得ることができました。

最後に収支の状況ですが、皆様のお支えで2007年度から続いていた赤字を黒字に転換することができました。また9月5日付けで兵庫県より税額控除の対象となる法人の証明をいただきました。ご寄附下さる個人の方に対して減税効果が大きくなりますので、今後の収入増につないでいきたいと思っております。

2013年度も「平和と健康を担う人づくり」を皆様とともに進めていきたいと思っております。また今後は帰国研修生のフォローアップにも力を入れていきたいと考えています。これまでと変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

研修

(1) 第30期研修生

インドネシアからはタランバブンゴ地域のタラタダマ村からインドラさん(10年度)に続いてアドリザルさんが来日し、ネパールはガハテ村からビショさん(09年度)、ミン

クマリさん(10年度)、パッサンさん(11年度)に続きアチャンマさんとランマヤさんが来日しました。3人の研修生たちは有機農業、保健衛生、協同組合などについて学びました。

アドリザル

(インドネシア・36歳・男性)
推薦団体：PHD研修生グループ
研修テーマ：有機農業、保健衛生、住民組織化



- 5月 兵庫県
神戸市/倉光和夫・百合子・千夏(滞在)
- 6月 丹波市/中野宗嗣(酪農・米)
- 7月 養父市/上垣敏明(養鶏・野菜・養蜂)
- 8月 市川町/永菅裕一(野菜)
養父市/上垣敏明(養鶏・野菜)



上垣さんから鶏のエサについて説明を受ける

- 9月 市川町/牛尾武博(養鶏・野菜)
高砂市/ステップハウス(ハンディキャップガイドスタディ)
- 10月 丹波市/橋本慎司(養鶏・野菜)
養父市/上垣敏明(養鶏・野菜)
佐用町/真柴三幸(有機肥料)
- 11月 ※東日本研修旅行
- 12月 兵庫県
三田市/中西郁(しい茸)
- 1月 ※西日本研修旅行

<敬称略>



中西さんからしい茸の指導を受ける

アチャンマ ラマ

(ネパール・18歳・男性)
推薦団体：サマ・セワ・サムハ
研修テーマ：有機農業、保健衛生、協同組合



- 5月 兵庫県
西宮市/大串久則・いづみ(滞在)
- 6月 神戸市/藤井誠次(有機肥料・養鶏)
- 7月 神戸市/渋谷富喜男(野菜)
- 8月 佐用町/真柴三幸(有機肥料)
篠山市/ささやま保育園(保育)
篠山市/丹南健康福祉センター(保健・衛生)
- 9月 篠山市/圓谷豊子(野菜・有機肥料)
丹波市/橋本慎司(野菜・有機肥料)



圓谷さんの農園を見学する



橋本さんから発酵飼料についての説明を受ける

- 10月 高砂市/ステップハウス(ハンディキャップガイドスタディ)
篠山市/篠山東雲高等学校(野菜・農業)
- 11月 ※東日本研修旅行
- 12月 兵庫県
豊岡市/寺田正文(加工品)
- 1月 ※西日本研修旅行

<敬称略>

ランマヤ タマン

(ネパール・20歳・女性)
推薦団体：サマ・セワ・サムハ
研修テーマ：有機農業、保健衛生、協同組合



- 5月 兵庫県
神戸市/三宅康平・幸江(滞在)
- 6月 豊岡市/寺田正文(野菜・米)
- 7月 西宮市/はらっぱ保育園(保育)
- 8月 篠山市/圓谷豊子(野菜・有機肥料)
- 島根県
松江市/松江市保健福祉総合センター(保健衛生)
西ノ島町/西ノ島町社会福祉協議会(保健)
- 9月 西ノ島町/シオン保育園(保健・保育)
- 岐阜県
高山市/PHDひだ友の会、石原辰雄(野菜)
- 10月 愛媛県
松山市/泉精一(有機肥料)



泉さんから有機野菜の説明を受ける

- 11月 兵庫県
三木市/三木市総合保健福祉センター(保健衛生)
※東日本研修旅行
- 12月 兵庫県
神戸市/赤坂真砂(洋裁)
神戸市/井上妙子(洋裁)
- 1月 ※西日本研修旅行

<敬称略>



離乳食研修を受けるランマヤさん

◆共通研修◆

- 5月 兵庫県
神戸市/神戸YMCA学院専門学校(日本語)
- 6月 神戸市/神戸YMCA学院専門学校(日本語)
朝来市/野草を食べる会(野草の採取及び調理)
- 9月 神戸市/兵庫県養鶏協会(養鶏)
加古川市/奥野克哉(養鶏)
- 11月 神戸市/生活協同組合コープこうべ(協同組合)

- 12月 大阪府
大阪市/旅路の里(釜ヶ崎の歴史や現状)
- 兵庫県
神戸市/なでしこ歯科(口腔衛生)
神戸市/生活協同組合コープこうべ(協同組合)
神戸市/人と防災未来センター・中林清(防災研修)
宝塚市/食品公害を追放し安全な食べ物を求める会(住民組織化研修)
- 1月 三木市/三木市総合保健福祉センター(離乳食・家族計画)
- 2月 洲本市/淡路島モンキーセンター(残留農薬の弊害)
南あわじ市/山口勝弘(果樹)
宝塚市/PHD協会(住民組織化研修)
神戸市/なでしこ歯科(口腔衛生)
- 3月 篠山市/圓谷利行(しい茸)

<敬称略>

◆東日本研修旅行◆(11月12日~21日)

- 長野県/日本キリスト教団松本教会、塩尻めぐみ幼稚園
- 山梨県/山梨英和中学校・高等学校、山梨YMCA
- 東京都/全日本自動車産業労働組合総連合会、ロータリー米山記念奨学会、日本労働組合総連合会、日本キリスト教団梅ヶ丘教会、生協総合研究所、アユス仏教国際協力ネットワーク・勝楽寺、共同保育所にんじん
- 神奈川県/地球の木、山崎・谷戸の会、もみの木クラブ
- 愛知県/トヨタ自動車労働組合、小牧幼稚園、アユス仏教国際協力ネットワーク東海・想念寺、星城中学校
- 岐阜県/日本キリスト教団中濃教会、国際ソロプチミストかかみ野

<敬称略>

◆西日本研修旅行◆(1月12日~27日)

- 鹿児島県/かごしま有機生産組合、だるま保育園、出水小学校、スローカルチャースクール
- 熊本県/水俣病センター相思社、エコネットみなまた、ほっとはうず、ガイアみなまた、熊本YMCA、菊池恵楓園
- 福岡県/若園小学校、祝町小学校、旭ヶ丘会館交流会、エコライフプラザ、アジアを考える会・北九州
- 山口県/梅光学院大学・梅光女学院高等学校、あい・ネパールの会、岩国みなみワイズメンズクラブ
- 広島県/平和学習、灰塚小学校、共生庵、仁賀小学校、三良坂小学校、灰塚コミュニティセンター交流会
- 岡山県/岡山YMCA、ホームレス支援きずな

<敬称略>



一さんから広島に建てられた慰霊碑の説明を受ける

◆県内研修報告会◆(2月)

- 養父市/但馬PHD指導者会
- 加東市/加東市連合婦人会
- 篠山市/篠山ナマステ
- 西脇市/研修指導者会
- 高砂市/高砂にPHD研修生を迎える会

<敬称略>

◆ 30 期生アクションプラン ◆

30 期研修生の 3 人は村に戻ってからの行動計画を作成し、各地での帰国報告会で発表しました。すでに活動基盤のある農業組合に所属するアドリザルさんは、組合を通じて有機農業の普及を目指します。逆に、組織されて数年しかたっておらず、活動基盤がまだない組合に属するアチャンマさんとランマヤさんは、村をより良いものにするために組合として出来ることが行動計画に反映されています。



アドリザル

計画の名前	Happy な村づくり
村の課題	以前は化学肥料と農薬を購入していましたが、大変高価です。また使用することにより土壌が固くなってしまいます。
やりたいこと	農業組合のメンバーと共に、有機肥料を作ります。
いつ?	4 月頃から作ります。10 月頃にできると思っています。
どこで?	自分が組合に貸している組合の畑で。
誰と?	13 人の組合メンバーと。
どうやって?	草、葉っぱ、鶏糞、牛糞、籾殻、藁、などを混ぜます。暑い時は水をかけ、発酵させます。
大切な事は?	地面に水がないこと。 草は乾かしてから混ぜること。 雨に当たらぬよう、バナナの葉っぱなどを上にかぶせること。 発酵させること。
その他の計画	養鶏の拡張。資金が集まり次第、日本で勉強した鶏舎を建て、約 30 羽の鶏を平飼いすることにより、鶏糞をベースとした有機肥料作りをします。



有機肥料作り研修



アチャンマ ラマ

計画の名前	組合を通して、村の問題を解決すること
村の課題	今、村で最も困っていることは、野菜の販売です。村人各自が近くの町で販売しても、安く買いたたかれてしまいます。
やりたいこと	ビショさん（09 年度）が作った組合を通じて野菜を集め、組合として野菜を販売すること。
いつ?	7 月に組合メンバーと話し合いを行い、10 月頃の収穫時期から始めることを目指します。
誰と?	組合メンバーたちと話し合いながら、一緒に考えます。
どうやって?	近くの町で販売するのに比べ、首都カトマンズではより高値で販売することができます。よって村の組合メンバーが各自で作った野菜を、まず組合が少し高値で購入し、そして組合がその野菜をカトマンズまで運搬し、更に高値で販売することを目指します。
メリットは?	野菜を売る販路ができれば、組合メンバーが増え、組合の資金も増えます。そのお金を村の他の課題解決に役立てることができると思います。
計画の難しいことは?	カトマンズまで野菜を持っていく方法。 → これは組合メンバー数人でバスで運ぶことによって解決できると思います。
売れ残った野菜はどうする?	見かけの悪い野菜はなかなか売れないので、これらはジュースにするなど加工して売ること考えています。



コープこうべ職員小西さんによるマネジメント研修



ランマヤ タマン

計画の名前	皆で皆のために、明日のことを考えましょう
村の課題	村にはお店がないので、村人は近くの町のお店で必要品を購入します。しかし町のお店では、特に読み書きの出来ない村人は騙されてしまうことが少なくありません。商品の値段も一定ではありません。 村では農業をたくさん使います。農業は近くの町で購入しますが、そこでは高値で販売されています。またお店の人は農業を大量に使うことを勧めてきます。村の多くの方は、農業の健康被害に関して知りません。
やりたいこと	組合のお店を出したいです。
いつ?	6 月頃から店の準備を始めることができると思っています。進学の前ですが、大学の授業は朝のみなので、11 時から 17 時に店の番をすることができます。
どこで?	組合のリーダーの家の部屋を借りることができると思います。
誰と?	組合のメンバーたちと、話し合いをして決めます。
どうやって?	商品が高値の近くの町ではなく、安く購入できる遠くの町で、農業をはじめ塩や油などの生活必需品をまとめ買いし、村の組合のお店で販売します。その際に、農業の危険性と正しい使い方を説明します。



コープこうべの店舗の取組について学ぶ

(2) 選考・フォローアップ・調査

訪問した 4 カ国において、帰国研修生のフォローアップを行い、ネパールのピンタリ村では、生活協同組合コープこうべ職員の高田さんに組合の話をさせていただきました。また、ネパール、インドネシア、ミャンマーでは 31 期研修生の選考を実施しました。

訪問国	日程
ネパール	7 月 27 日～8 月 6 日
インドネシア	8 月 20 日～28 日
ミャンマー	9 月 2 日～9 日
タイ	9 月 9 日～14 日
タイ	12 月 23 日～2013 年 1 月 2 日
ネパール	2013 年 3 月 20 日～29 日

◆ 31 期研修生の選考と結果 ◆

ネパール・マンガルタール区

応募者の出身村と人数	ピンタリ村：女性 6 名、男性 7 名
選考結果	プレム ドジュ ラマ (37 歳・男性・ピンタリ村)

インドネシア・西スマトラ州

応募者の出身村と人数	タベ村：女性 2 名、男性 1 名 タラタジャラン村：女性 2 名、男性 2 名
選考結果	ダリスман (20 歳・男性・タラタジャラン村)

ミャンマー・マンダレー管区

応募者の出身村と人数	タダインシェ村：女性 2 名、男性 5 名 イェボ村：女性 1 名、男性 1 名 ミンガン村：男性 3 名
選考結果	モーママ (21 歳・女性・タダインシェ村)



村人に組合の話をするコープこうべ職員高田さん（ネパール）



応募者同士のグループディスカッション（インドネシアでの選考）

◆広報活動◆

年3回発行している会報の紙面を、従来の8ページから12ページに増やし、より深く研修生の様子や職員の思いをお伝えできるようにしました。ブログでは、日々の研修生や事務所の様子をわかりやすく発信しました。

会報「PHD LETTER」
120, 121, 122号
新聞・雑誌・放送等
神戸新聞、加古川ラジオ BAN-BAN、examiner、JANIC シナジー vol.156号、コープこうべ「Piu」47号
他団体HP・メールニュース等
JANIC、NPO/NGO Walker、関西 NGO 協議会、市民国際プラザ、I-koko、ひょうごボランティアプラザ、国際協力マガジン、神戸国際協力交流センター、JICA Partner、スタディーツアーサポート

◆第16期国内研修生◆

国内における人材育成を目的として、5月から国内研修生を2名受け入れました。海外からの研修生の研修先に同行し、共に学び、気づきを共有するとともに、事務所内でもNGOの運営や各部門の業務に関わってもらいました。

■ 藤原峻悟 (男性・22才)

研修期間：5月1日～2013年3月31日
研修先：野草を食べる会（野草の採取及び調理）、中野宗嗣（酪農・米）、上垣敏明（養鶏・野菜・養蜂）、兵庫県養鶏協会（養鶏）、コープこうべ（協同組合）、東日本研修旅行、釜ヶ崎研修、なでしこ歯科（口腔衛生）三木市総合保健福祉センター（離乳食・家族計画研修）、灘小学校交流会、淡路島モンキーセンター（残留農薬の弊害）、圓谷利行・豊子（野菜・米・しいたけ栽培）、但馬PHD指導者会、加東市連合婦人会交流会、篠山ナマステ会、西脇研修指導者会、ネパールスタディツアー
<敬称略>



アドリザルさんの研修に同行



ネパールスタディツアーに参加

■ 安本真理子 (女性・31才)

研修期間：5月1日～2013年3月31日
研修先：野草を食べる会（野草の採取及び調理）、はらっぱ保育園（保育）、圓谷利行・豊子（野菜・米・しいたけ栽培）、上垣敏明（養鶏・野菜・養蜂）、コープこうべ（協同組合）、東日本研修旅行、なでしこ歯科（口腔衛生研修）、食品公害を追放し安全な食べ物を求める会（住民組織化研修）、西日本研修旅行、三木市総合保健福祉センター（離乳食・家族計画研修）、但馬PHD指導者会、加東市連合婦人会交流会、篠山ナマステ会、高砂にPHD研修生を迎える会 <敬称略>



ランマさんの研修に同行

◆学生の受け入れ◆

国際協力やNGOに対する理解を深めてもらうため、また、学生が将来の進路を考える際の一助となるよう、インターンやボランティアを希望する学生を受け入れました。

大阪経済大学インターン 園田哲史
南山大学短期大学部インターン 鈴木愛望、田邊美那
神戸学院大学サマーボランティア 10名



離乳食研修に同行

◆講演・交流会◆

当会の活動の紹介とともに、国際協力やボランティアに対する理解を深め、PHD運動に参加してもらうために、講演に出かけました。また、研修生がアジアの村の生活などを紹介する交流会も各地で行いました。

岐阜県/PHDひだ友の会、国際ソロプチミスト高山
滋賀県/立命館大学草津キャンパス
兵庫県/篠山ナマステ会、神戸市シルバーカレッジ、聖和短期大学、野草を食べる会、阪神シニアカレッジ、30期研修生来日報告会、西脇研修指導者会、但馬PHD指導者会、神戸大学、加東市連合婦人会、青年海外協力隊OB会座うぐい場、兵庫県協同組合連絡協議会、立命館守山高等学校、コープ白川台組合祭、高砂にPHD研修生を迎える会、柏原中学校、明石城西高等学校、国際高等学校、関西学院大学三田キャンパス、のぞみ保育園、阿弥陀小学校、コープこうべ平和企画の会、但馬農業高等学校、コープ深江レインボースクール、コープ三田南レインボースクール、30期研修生帰国報告会
岡山県/岡山県国際交流協会 <敬称略>

◆啓発事業促進物の製作・販売◆

タイ・カレンの人が作った手織り布、ネパールの毛糸物などの販売を通じて、当会の活動や国際協力への理解を深めることに努めました。また兵庫県内の各イベントへの参加や、日本各地の協力団体・個人に委託して販売をしました。

<委託・出店先>

岐阜県/国際ソロプチミスト高山
大阪府/えにし庵、雛
兵庫県/兵庫高等学校文化祭、しあわせの村まつり、神戸市シルバーカレッジボランティア報告会・学園祭、関西国際大学尼崎キャンパス、コープこうべ「平和を願うつどい」、コープ活動サポートセンター住吉、三木金物まつり、国際ソロプチミスト姫路西「チャリティバザー」、コープ活動サポートセンター西宮、国際ロータリー第2680地区「地区大会」、コープ活動サポートセンター宝塚「ふれあいフェスタ」、兵庫県ユニセフ協会「ユニセフのつどい」、淡路市国際交流協会、石上リカ、ステップハウス、CLEAR
山口県/藤田公美
福岡県/北九州エコライフプラザ
大分県/猫のうたたねぎやらりー縁、志賀美織
鹿児島県/かごしま有機生産組合「地球畑」 <敬称略>

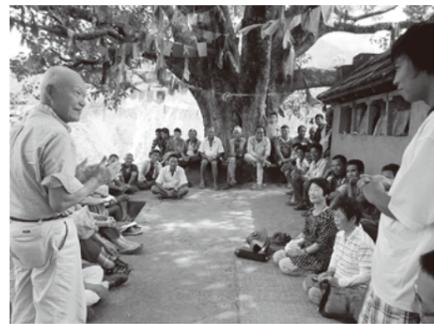


三木金物まつり

◆スタディツアー◆

帰国した研修生の村を訪ね、村の生活を体験し、研修生の活動から学ぶことで、国際協力や開発のありかたや日本での生活について考える旅を実施しました。また、3月には研修生の村に加えて都市部でのホームステイも、参加型開発に取り組むNGOを訪問する旅を行いました。

訪問国	期間	参加者数
ネパール	7月27日～8月5日	8名
	2013年3月20日～29日	4名
インドネシア	8月20日～28日	2名
タイ	12月23日～2013年1月2日	3名



ネパール・スタディツアーで訪れたピンタリ村

◆ボランティアとの協働◆

2012年度はのべ約550人の方々にボランティアとして関わっていただきました。神戸市シルバーカレッジの現役生・卒業生の方々には、切手の整理作業、会報の発送作業を中心に協力していただきました。また、個人で来てくださる方も多く、発送作業に加え、事務作業や会報の編集会議などで協働しました。

神戸市シルバーカレッジ・ボランティアグループ（55回）、会報発送作業（3日間×3回）、ソディ例会（4回）、会報編集会議（2回）

◆他団体との協働◆

他の国際協力・交流団体および多種団体との共催行事の実施、及び運営に参加しました。

<共催・参加イベント>

多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー、コープ白川台活動報告会、コープこうべスタディツアー報告会、大阪YMCA創立130周年記念パネルディスカッション、大阪経済大学ミニフォーラム、マイチケットスタディツアー合同説明会、神戸学生青年センター日本語サロン交流会、国際ソロプチミスト神戸クリスマス会、JICA「アフガニスタン青年研修地方行政コース」、国際ロータリー第2680地区「地区大会」、第7回セーフトラベルセミナー、外務省委託NGO相談員

<運営>

神戸NGO協議会例会、神戸市地球環境市民会議（委員）、兵庫県ユニセフ協会（評議員）、JICA兵庫国際センター開発教育支援実行会議、NGO/JICA定期協議会、関西国際交流団体協議会総会

◆書き損じハガキ等の収集◆

書き損じハガキ、使用済み切手などの収集による協力を、会報などの広報媒体を通じて呼びかけました。使用済み切手と外貨コインは買い取っていただき活動資金に、また未使用テレホンカードは電話代の支払いに、ハガキは切手に交換、または各種ご案内に使わせていただきました。

書き損じ及び未使用ハガキ	177,206円
未使用切手	168,222円
外貨コイン・使用済み切手	278,600円
未使用テレホンカード	21,500円
(相当額・換金額)	

◆会員数◆

既会員の方々には、継続したご支援をいただけるよう、チラシや手紙などで働きかけました。また、講演会や交流会などでは、新規会員となっていたいただけるよう努めました。

終身維持会員	234人
PHD会員	958人
友の会会員	344人
合計	1,536人
(2013年3月31日現在)	

◆正味財産増減計算報告書◆

自 2012 年 4 月 1 日・至 2013 年 3 月 31 日 (単位:円)

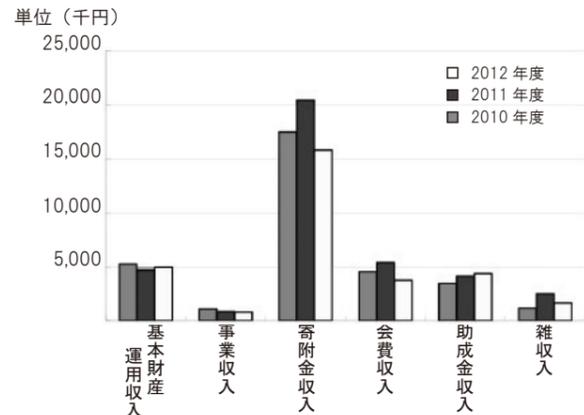
経常収益		経常費用	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	4,966,100	研修事業費	33,865,844
特定資産運用収入	341,002	啓発事業費	6,033,431
事業収入	830,940	管理費	8,566,369
寄附収入	15,833,482	経常外費用	847,820
会費収入	3,755,500		
助成金収入	4,387,395		
受取利息・配当金	61,666		
雑収入	1,670,513		
経常外収益	19,739,863		
経常収益計	51,586,461	経常費用計	49,313,464

◆貸借対照表◆

2013 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,150,853	流動負債	1,290,166
固定資産	302,234,810	固定負債	204,840
(うち基本財産として)	275,000,000)	正味財産	306,890,657
308,385,663		308,385,663	

◆過去 3 年間収入比較◆



■理事会

理事長	今井 鎮雄	神戸YMCA 名誉顧問
理事	梶山 卓司	(株)神戸新聞社 論説委員長
理事	米谷 収	ライスヴァレーA.C. 代表
理事	田中 敬一	兵庫県産業労働部 観光・国際局長
理事	橋本 一豊	(株)神戸マツダ 代表取締役会長
理事	松田 高明	神戸市市長室 国際交流推進部長
理事	安平 和彦	はりま法律事務所 弁護士
監事	田島 耕一	田島耕一事務所 司法書士
監事	秦 正雄	生活協同組合コープこうべ 常務理事

(2013.3.31 現在)

■評議員会

寒者 恵	元三木市職員 保健師
渋谷富喜男	兵庫県有機農業研究会 元会長
杉原 一三	篠山ナマステ会 会長
大工原則子	(公財)神戸YWCA 理事
水野 雄二	(公財)神戸YMCA 総主事
向井 菊美	国際ロータリー第 2680 地区米山奨学委員会 副委員長

(2013.3.31 現在)

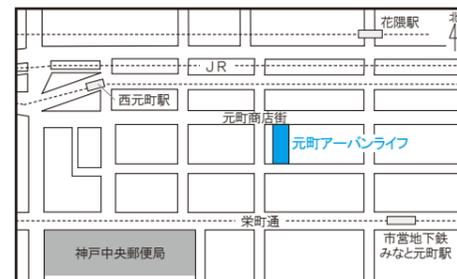
■運営協力委員

岩見龍太郎	兵庫県町村会 事務局長
本永 正治	(社)兵庫県医師会 事務局長
大森 裕之	(社)兵庫県歯科医師会 事業課課長
堅田 博行	(社)兵庫県薬剤師会 事務局長
永守 研吾	(社)兵庫県社会福祉協議会 常務理事・事務局長
塚元 重範	(公財)兵庫県老人クラブ連合会 専務理事兼事務局長
坂田 民子	(社)ガールスカウト日本連盟兵庫県支部 副支部長
古米 泰子	兵庫県連合婦人会 理事・事務局長
清水 勲夫	兵庫県青少年団体連絡協議会 副会長
草野誠一郎	神戸商工会議所 産業振興部長
山下 晃	(社)神戸銀行協会 常務理事
大西 巧	(社)兵庫県信用金庫協会 常務理事
伊勢田佳博	(社)兵庫県信用組合協会 会計理事
石田 恭一	(社)兵庫県建設業協会 専務理事
上原 利信	兵庫県森林組合連合会 専務理事
山口 徹夫	兵庫県漁業協同組合連合会 専務理事
森 貴彦	(社)日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会 会長
奥谷 武司	神戸キワニスクラブ 福祉広報委員会 委員長
伴 忠道	青年海外協力隊兵庫県OB会
寺尾 雅晴	兵庫県連合自治会 事務局長
大家 重明	兵庫県青年洋上大学同窓会 会長
村岡 弘朗	兵庫県小学校長会 神戸市立霞ヶ丘小学校長
森川 豊文	兵庫県中学校長会 神戸市立西神中学校長
平井 敬文	兵庫県立高等学校長協会 会長・兵庫県立長田高等学校長
川上志津夫	(社)兵庫県私学総連合会 事務局長
中村 仁志	兵庫県PTA協議会 理事
田守 茂男	(株)神戸新聞社 デジタル事業局長
伊藤 千鶴	国際ソロプチミスト神戸 会長
西村 利也	高砂にPHD研修生を迎える会

(2013.3.31 現在)

■事務局

主任主事/事務局長	坂西 卓郎
主事/啓発担当	川原 桂 (2013.2 末まで)
主事補/総務・財務担当	井上 理子
主事補/研修担当	今里 拓哉
主事補/啓発担当	芳田弓生希 (2013.3.31 現在)



個人情報保護のため氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

当会へのご寄附は、免税・減税の対象となります

当会は公益財団法人としての認定を得ています。
また、税額控除に係る証明も受けています。

◆寄附者が個人の場合◆

確定申告において、所得から控除する寄附金控除の適応を受けるか、所得税額から一定割合を控除する税額控除の適応を受けるか、いずれか有利な方を選択することができます。

- 1) 寄附金控除額 = 寄附金合計額 (所得金額の 40% を限度とする) - 2 千円
- 2) 税額控除額 = 次の①または②のいずれか少ない方の金額
 - ① (その年の寄附金合計額 - 2 千円) × 40%
 - ② その年の所得税額の 25% に相当する金額

◆寄附者が法人の場合◆

次の①または②のうち少ない方の金額が損金算入額になります。

- ① $\{(所得金額 \times \frac{6.25}{100}) + (資本金額 \times \frac{3.75}{1000})\} \times 0.5$
- ② 寄附金合計

PHD会員制度のご案内

PHD運動は会員によって支えられ、すすめられています。
継続したご支援をよろしくお願いいたします。

PHD終身維持会員	1口	10万円（任意の口数）
PHD会員	年額1口	5千円（任意の口数）
PHD友の会会員	年額	千円以上（任意の額）

会員の皆さまには、会報「PHD LETTER」、年度事業報告書、行事のご案内をお届けします。またスタディツアーの割引などがあります。

郵便振替口座
01110-6-29688
公益財団法人ピー・エイチ・ディー協会